

みゆきコミュニティだより

第四十六号



発行 御幸コミュニティ広報情報部
御幸地区コミュニティセンター
亀山市東御幸町二二〇—三
電話・FAX 83-1232

会長就任にあたって

会長 小林 昭一

平成二六年度第三号のみゆきコミュニティだよりで退任の挨拶を行いました。この四月二十五日に行われました「平成二十七年御幸地区コミュニティ総会」において、再任されました。引き続き微力ではありますが、職務を果たすため頑張りたいと思いますので皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、前号でもお伝えしたのですが、すでに、22地区コミュニティのうち10地区が『地区まちづくり協議会』として、活動し始めており、また、いくつかの地区が設立を目指して取り組んでいます。当コミュニティは、組織的には大方出来上がっていますが、規約の変更または改正等、多くの課題が山積みです。

今後色々と皆様にお願ひしなければなりません。地区住民の方々全員で、コミュニティを支えて頂き、協力をして頂けるようお願いいたします。

今回の広報誌に各部の主な行事予定が掲載されておりますので、会員の皆様のご協力と参加をお願いいたします。

各専門部の今年度の抱負と主な取組み

(◎部長 ○副部長)

【青少年育成部】

◎櫻井こすえ 大西友紀 松本由美 福田桂子

今年一年間で楽しく思い出に残る年としたいと思います。
年間行事予定

・工作体験(御幸コミュニティ)・・・7月17日(金)

【福祉環境部】

◎長谷川寛四 ○長田美恵子 中村孝迪 高土知子
鍛田秀和 宮崎たづ子 川原林秀樹 岩間清秀
打田道子 小林智子 村嶋恵美子 若林悟

今年度もコミュニティ周辺の清掃活動や花壇の整備を3回予定しています。すでに、5月末皆様の協力のもと実施し大変きれいになり皆様に気持ちよく利用して頂けることと思います。9月には敬老会を開催します。皆様のご意見、ご提案のもと部員全員で計画立案し出席者全員が楽しんで頂ける様に努力いたします。ご協力お願い申し上げます。

【レクリエーション体育部】

◎小林研一 ○野田健一 加藤巧 志賀幸治
村山明 五由出諭 松田敏晴

御幸地区コミュニティ会員の皆様に喜んでいただける行事を部員全員協力のもと実施していきたいと考えています。ご協力よろしくお願いいたします。

年間行事予定

- ・ 壮年ソフトボール参加・・・10月25日(日)
- ・ ふれあい小旅行(岡崎市)・・・11月1日(日)
- ・ ゲーム&ミニ運動会(仮称)・・・2月

【教育文化部】

◎松本博行 ○森中英夫 鍛田大作 松村勝
大石斉 草川豊基 山口恭平 伊藤正夫
岩崎愼二 森順一 橋本スミ子 谷川浩司

初めて部長をさせて頂く松本です。何かとわからない事もあつた迷惑をお掛けすると思いますがよろしく願ひします。皆様のご協力をお願いいたします。

御幸地区文化祭を11月にご予定

【広報情報部】

◎尾崎末廣 ○高土知子 葛西剛

コミュニティの行事をお知らせすると共に、皆様に役立つ

コミュニティ情報を分かりやすくお伝えできる記事を作成できるように努力いたします。今後、皆様に原稿の作成やお問い合わせをすることがあります。よろしくご協力のほどお願いいたします。

『みゆきコミュニティだより』を年3回発行予定。

【福祉委員会】

◎川原林秀樹 ○小林智子 村嶋恵美子
長田美恵子 鍛田秀和 高土知子 若林悟
宮崎たづ子 岩間清秀 打田道子

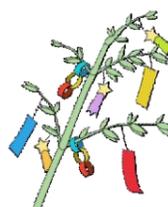
地域全体で見守る足掛かりに

福祉委員会では、当地区の児童・民生委員さんお二人にも部会に入っていただき、専門的アドバイス等を頂きながら、地域のお年寄りが安心して暮らせるよう微力ながら活動を展開していきたいと考えています。

ところで、亀山市の高齢化率は2015年5月1日現在24.8%だそうです。この高齢化の進行と相まって、核家族化が進んでいることも大変気になっております。というのは、家庭・家族のあり方が大きく変容してきており、子供がいても同居することが少なくなってきたことです。そのことにより高齢者同士、あるいはお年寄りのひとり暮らしがますます増加していくものと危惧しています。もちろん、それぞれ家庭の事情があつてのことですが、それゆえ隣近所の皆さんとの繋がりがやぶれあいが必要になってきています。

さて、人は望むと望まざるに拘わらず、誰もがいずれは高齢者になり、また、ひとり暮らしになったりもします。そのような中、皆さんのご近所にお住まいのお年寄り、特にひとり暮らしの方に対して、例えば、新聞が数日分たまっていない。数日間、雨戸が開いたままである。最近、めっきが元気がない。ここ数日、姿を見かけない。会話が合合わなくなってきた。季節にそぐわない服装をしているなど、これらはご近所ならではの気付きの点ではないでしょうか。

御幸地区のお年寄りが住み慣れたこの地域で安全・安心に暮らせるよう、私たち地域全体で見守っていく、当委員会がそんな環境づくりの足掛かりになればと思っています。



御幸地区の自主防災会について

御幸地区自主防災会 会長 鎌田大作

災害は忘れた頃にやってくると、昔の諺にありますように大規模な災害が発生する度に、私たちは何か防災対策と想うものですが、災害の終息化等時間の経過と共に防災対策を行う気持ち薄れていきます。御幸地区でも昭和49年に実際に大きな水害に見舞われました。

災害が起きても「きっと誰かが助けてくれる」「行政が何とかしてくれる」と思っている人も多いと思います。災害が発生すれば、行政や防災関係機関は住民の命や財産を守るためにいち早く活動を開始し必要な対策をおこなってくれますが、防災関係機関の人手は限られており、災害時には交通機関や通信などのライフラインが混乱し、災害の規模が大きくなればなるほど全ての地域に救助等が十分回らない可能性があります。行政による支援にも限界があります。災害が発生したら「自分の身は自分で守る」が原則であり日頃からの心構えが大切であると思います。

この様な自助努力に加え地域住民同士の助け合う気持ちと行動が大切であり、「自分たちの地域は自分たちで守る」ため、日頃から地域住民同士が力を合わせ地域の課題に取り組み、災害時の被害を最小限に食い止めるために取り組む考えに基づき、その中心になるのが「自主防災組織」だと思います。

具体的には、「御幸地区自主防災会規約」により各自治会長様を役員とし地域住民の方の隣保共同の精神に基づき自主的な防災活動を行うことにより、地震・風水害・火災等による人的、物的被害の防止及び軽減を図るものです。

平時時には、①防災知識の普及、地域住民の防災意識の高揚を図る。②防災訓練、参加へのPR活動・促進。③地域住民の把握、弱者への配慮(高齢者・単身者・子供)への配慮。④地域環境の把握、自分の住んでいる町、変化する環境を知

る。
非常時には ①非常時の「緊急連絡リスト」に従い速やかに招集する。②災害情報の収集、伝達の協力、行政の災害本部に連絡する。③出火防止、初期消火活動の協力を行う。④避難住民の誘導、収容等の協力の活動を行うてまいります。

地域の方のご協力をお願いします。



民生委員からの連絡

民生児童委員 小林智子

民生児童委員をさせていただき5年目に入ります。この5年間で、孤独死2件、自宅で倒れ、救急搬送が数件ありました。高齢者世帯数が多い地域ですが、近年は、東御幸を中心に子供さんが増え嬉しく思っています。

今後は、自治会長さんや福祉委員さん方と協力して、地域全体で、子供と高齢者の見守り活動をして行きたいと思っています。

来年は、民生児童委員の改選年度であります。東御幸地区が1年間、民生児童委員が空白でした。このような事が無い様に願っています。

亀山市の地域まちづくりの現状について

亀山市では、自治会や地区コミュニティをはじめとした多様な主体による地域の包括的なしくみづくり(以下、「地域まちづくり協議会」という)に取り組んでいます。それには次のような4つの背景があります。

1 人口減少社会

2008年頃から日本の人口は減り始め、もっとも働き盛りの生産年齢人口も減少しているため、地方自治体の税収は減少傾向にあります。将来、税収の減少により公共サービスもこれまでどおりの提供に限界が予想されます。

2 少子高齢社会

日本の65歳以上の人口の割合は、平成22年で23%となっています。

また、女性が一生に産む子供の数を示す合計特殊出生率は1.39(平成23年)となっています。

少子高齢化は確実に進んでいます。また、介護難民の問題や高齢者の孤独死など我々の生活において目に見える形で影響が出始めています。

3 価値観の変化

人々の価値観が変化し、個人の生き方が多様化するにつれて、

地域社会での人と人とのつながりは、希薄化する傾向にあります。東日本大震災後、あらためて個人と地域社会の関係を直視し、助け合いの共助の精神に基づく地域の絆を再考すべき時期にきています。

4 地方分権の進展

国からの権限移譲により、地方自治体の役割は増大しつつあり、地域が担うべき役割も増大しています。

これらの要因で地域の個性や資源を活かし、自らの考えと自己責任に基づく地域社会の実現が求められています。

現在、小林会長の巻頭文章中にも触れられているように、亀山市の地区コミュニティ22箇所のうち既に10箇所が「地域まちづくり協議会」として動き始めています。

「地域まちづくり協議会」は地域が抱える身近な課題を話し合い解決していく協議の場です。(安全安心なまちづくり、自然環境の整備、等)今後、御幸コミュニティはどのように取り組んでいくのかを早急に住民全体で地域課題を抽出してその解決のため議論し方向付けをする必要があります。

御幸地区人口データ

	人口												
	総人口(A)		対前年増加率	65歳以上(B)			14歳以下(C)			B/A	C/A		
	男	女		男	女	男	女						
H26年	812人	396人	416人	818人	-0.7%	182人	76人	106人	22.4%	108人	43人	65人	13.3%

